

参加無料

どなたでも
ご参加いただけます。

福島の 林業復活に 向けて

2020年1月31日（金）

13：30～16：30（受付開始13：00）

福島県男女共生センター（二本松市郭内一丁目196-1）

講演：ヴァシル・ヨシエンコ（福島大学特任教授）

小沢 晴司（環境省東北地方環境事務所所長）

汚染地域の森林の現状について、最新研究データをもとにお話しします。
森林再生・林業復活に向け、いま何が必要か？参加者で議論しましょう！

福島第一原発の事故の影響を受けた福島の林業にとって、木材中の放射性セシウムが今後どのような濃度で推移するかは大きな関心事です。今回の講演では、福島の森林の放射性セシウムの現状と将来の予測について、海外の事例も交えて紹介します。また、一般の人々への森林の魅力・価値の発信や原発事故後の対策など、政策的な側面についてもお話しします。

林業/木材産業の関係者と科学分野の研究者での対話によって、今後の福島の森林の再生や林業の振興が加速すること、今後ますます一般の人々に森林の魅力・価値が伝わることを願い、本懇談会を開催します。福島の林業の展望について活発な議論を交わしましょう！

■プログラム (予定)

13:30	開会のあいさつ 難波 謙二 (福島大学共生システム理工学類教授)
13:35 ~ 15:00	「森林の放射能汚染の現状と海外の事例」 ヴァシル・ヨシェンコ
	休憩
15:10 ~ 16:00	「福島の森林の魅力と再生に向けて」 小沢 晴司
16:00 ~ 16:30	質疑応答

IER 研究活動懇談会について

福島大学環境放射能研究所 (IER) では、2013年7月の設立以来、放射能汚染問題を抱える福島県を拠点に、環境放射能分野で最先端研究を実施する唯一の学術研究機関としての役割を担って参りました。とくに福島県の避難指示区域などをフィールドとして、地域住民のみならずのご理解・ご協力のもと研究を実施しているため、IERではその研究成果について、地域の方々へフィードバックし、参加者からの素直な声を聴く場として、研究活動懇談会を実施しています。

■講演者紹介



ヴァシル・ヨシェンコ
(Vasyl Yoschenko)

福島大学環境放射能研究所
特任教授

24年以上にわたり放射生物学を研究。環境放射能研究所着任前は、ウクライナ農業放射線研究所で主にチェルノブイリ原発事故の研究を行い、多くの国際的科学プロジェクトを担当した。福島県では、汚染地域における林業の現状と将来の見通しを評価するために、森林生態系内の放射性セシウムの挙動と循環を調査するなど、様々な研究を実施している。



小沢 晴司

環境省東北地方環境事務所
所長

2012年より環境省福島除染推進チーム (2014年以降福島環境再生本部に改組) として、福島における除染推進のため業務対応にあたる。2017年東北地方環境事務所長に着任。原子力災害後の被災地でのコミュニケーション、災害廃棄物処理に関する地域調整等の業務を担当。専門は景観史と森林環境保全等。

■会場/アクセス

福島県男女共生センター4階第2研修室
(二本松市郭内一丁目196-1)
TEL : 0243-23-8301



JR東北本線
二本松駅より
徒歩12分



東北自動車道
二本松ICより
車で5分



■お問合せ

福島大学環境放射能研究所

TEL : 024-504-2114 Email : ier@adb.fukushima-u.ac.jp URL : <http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/>